

■森本薫 劇作家。処女作が岩田豊雄に絶賛され、次々傑作、杉村春子のための「女の一生」を遺して、早世した。
もりもとかおる
明治天皇没・1912＝ 大阪市東淀川区で、メリヤス会社営む森本卯蔵の次男に生まれる。

原敬首相暗殺1921＝ 9歳：

府立北野中学校在学中には、「京都の築地小劇場」といわれた劇団{エラン・ヴィタール}の公演を観劇、

海軍軍縮条約1930＝18歳：第三高等学校文科甲類に入学、姉の嫁ぎ先の履物製造卸問屋に寄寓し、出稽古にきていた長唄・三味線の師匠姉とともに習う一方、演劇好きの担任山本修二の私邸サロンを、同級の田宮虎彦と度々訪ね、そこに集まる人たちから強い影響を受け、

満州事変・・1931＝19歳：
五一五事件・1932＝20歳：三高の文芸雑誌に処女戯曲「ダムにて」を発表、
帝人疑獄事件1934＝22歳：京大に進み、{部屋}に次々作品を発表するうち、*{劇作}から依頼がきて「みごとな女」を発表、岩田豊雄から絶賛され、一躍脚光、「アンファン・テリブル(恐るべき子供)」と呼ばれる。
芥川直木賞始1935＝23歳：{築地座}で「わが家」初演。続いて「華々しき一族」を発表、{エラン・ヴィタール}でも「わが家」公演。
二二六事件・1936＝24歳：「かくて新年は」、雑誌{文芸}に「衣裳」。*友田恭助の依頼で「薔薇」を書き、NHK東京放送局から放送。
日中戦争始・1937＝25歳：京大を卒業。続いて「退屈な時間」を発表。モノローグ・ドラマ「手紙の女」が{エラン・ヴィタール}の新人吉川和歌子の声で放送され、
健保+総動員 1938＝26歳：和歌子と結婚。スタートした{文学座}の第一作に「みごとな女」が取り上げられたのを機に、上京。
第二次大戦始1939＝27歳：長男が誕生。ラジオドラマで実験続け、映画シナリオでも名をあげながら、
大政翼賛会・1940＝28歳：次男が誕生。岩田豊雄が顧問に退き出る幕のなくなった{劇作}同人に替わるように{文学座}に入団、
日米開戦・・1941＝29歳：好評だった「陳夫人」を皮切りに、{文学座}のため、年一本のペースで創作、杉村春子と親しくなり、
・・・・・1942＝30歳：妻の病臥で恋仲に。「富島松五郎伝」は演出の里見弴に大幅に手を入れられて怒るも、大入りとなり、
創価学会検挙1943＝31歳：「無法松の一生」のタイトルで映画化され、さらにヒット。「勤皇届出」もあわせ脚色家の地位確立。他方、朝日新聞にいた飯沢匡に{文学座}のため作品を書かせ、「北京の幽霊」が大ヒットし、劇作家飯沢も確立。
年金+総武装 1944＝32歳：日本文学報国会幹事、国策協力作品に苦慮するうち、森雅之の退座で*{文学座}杉村春子時代到来、杉村のために「女の一生」を書き上げるも、
敗戦・・・・1945＝33歳：空襲で混乱の極地となるなか、幕開けると大入りとなるも、落ち着いた演劇人には評価得られず、疎開に追い込まれて妻がいる京都に行くも、結核が再発して病臥し、
新憲法公布・1946＝34歳：*「女の一生」の冒頭と末尾を書き換え、田宮虎彦によって、出版されたところで、没した。直後に、杉村春子演じる「女の一生」が大ヒットし、長期に演じられて行くことになる。